PART2　補助動詞　２つの給ふ

★補助動詞　２つの「給ふ」

「　　」語＝四段　　は　ひ　ふ　ふ　へ　へ

「　　」語＝下二段　へ　へ　（ふ）　ふる　ふれ　（へよ）

※終止形と命令形の用例はほとんど見られない。

○「給へ」の場合→「　　」（＝活用形）確認。

（例）思ひ給へず

○「**謙譲**語の給ふ」の特徴

① 「　　」・「　　」で使用。

② 「　　」・「　　」・「　　」・「　　」にしか付かない。

③ 主語は「　　」。

④ 訳は「〜　　」・（「〜　　」）

⑤ 敬意の方向＝**聞き手**に対する敬意

問一　次の傍線部①〜④の「たまへ」のうち、敬語の種類の異なるものが一つだけある。その番号を答えなさい。

「〜なほたち返り紅葉もいかにと思ひ①たまへてなむ。旅寝もしつべき木のもとにこそ」とて、見出だし②たまへり。〈中略〉「さま変り③たまへらんさまを、いささか見せよ」と、少将の尼にのたまふ。「それをだに、契りしるしにせよ」と責め④たまへば、…

問二　「まかり出でて見給へむと思ひ給へしに、年はまかり老いにたり、…」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

1　（陽成院が）御覧になると思いましたが
2　（陽成院が）御覧になるはずがないと思いましたので
3　拝見しようと思いましたが
4　見るのを諦めようと思ったのですが
5　孫が姿を現すのを期待していたのですが

第18講　PART2　確認問題

① 「かしこを見たまへ(a)れば、…」「かしこを見たまへ(b)て、…」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　aは尊敬語で未然形、bは謙譲語で連体形である。
イ　aは謙譲語で未然形、bは尊敬語で已然形である。
ウ　aは尊敬語で已然形、bは謙譲語で連用形である。
エ　aは謙譲語で已然形、bは謙譲語で未然形である。

② 傍線部の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

「あはれ、いと寒しや。今年こそなりはひにも頼むところすくなく、田舎(ゐなか)の通ひも思ひかけねば、いと心細けれ。北殿※こそ、聞きたまふや。」など言ひかはすも聞こゆ。

※北殿…北隣さん。北隣に住む人への敬称。

ア　「たまふ」は尊敬の補助動詞で、「お聞きになっていますか」という訳である。
イ　「たまふ」は尊敬の補助動詞で、「お聞きしていますか」という訳である。
ウ　「たまふ」は謙譲の補助動詞で、「お聞き申し上げていますか」という訳である。
エ　「たまふ」は謙譲の補助動詞で、「聞いていますか」という訳である。

③「（頭の中将）『…いかで尋ねむと思ひ給ふるを、…』とて、みな笑ひぬ。」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア「思ひ」は名詞、「給ふる」は下二段活用の動詞である。
イ「思ひ」は動詞、「給ふ」は四段活用の補助動詞、「る」は自発の助動詞である。
ウ「思ひ」は名詞、「給ふ」は四段活用の動詞、「る」は完了の助動詞である。
エ「思ひ」は動詞、「給ふる」は下二段活用の補助動詞である。

④「『そこばくの神々集まりて、※ない給ふなりけりと見給へし※。…』と語る。」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

※ない…「なし（成し）」のイ音便　※「し」…過去の助動詞「き」の連体形

ア　成しなさるのだなあと、見なさった。
イ　成しなさるのだなあと、見ておりました。
ウ　成しますのだなあと、拝見した。
エ　成しますのだなあと、見ていらっしゃった。

⑤　ア〜エのうち、一つだけ敬語の種類の異なるものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　「かれ聞きたまへ。この世とのみは思はざりけり。」と、…
イ　壁の中の蟋蟀（きりぎりす）だに間遠（まどほ）に聞きならひたまへる御耳に、…
ウ　「いとかく思ひたまへましかば。」と、息も絶えつつ、…
エ　やがて別るべき門出にもやと、いみじうおぼえたまへば、…

〈Memo〉

第18講　PART2　解答

問一　①

問二　3

第18講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① aは完了の助動詞「れ〔り〕」が続くので、四段活用の已然形。四段活用の「給ふ」は尊敬語である。bは接続助詞「て」が続くので、下二段活用の連用形。下二段活用の「給ふ」は謙譲語である。よって、ウが正解。

② 助詞「や」の上は終止形。四段活用の尊敬語か下二段活用の謙譲語かは、文脈で判断する。直前で「北殿こそ（＝北隣さん）」と呼びかけているので、「北殿」を敬う尊敬語の「たまふ」だと判断できる。よって、アが正解。

③ 「思ひ」は四段活用動詞の連用形。自発の助動詞「る」は未然形接続、完了の助動詞「る〔り〕」はサ変動詞の未然形か四段活用動詞の已然形に接続するので、イ・ウは誤り。「給ふる」は謙譲の補助動詞「給ふ」の連体形である。よって、エが正解。

④ 「ない給ふ」の主語は「神々」なので尊敬語。「給へ」は過去の助動詞に接続しているので、下二段活用の連用形。会話文で使われており、「見る」に付いていることからも謙譲語。よって、イが正解。

⑤ アは四段活用の命令形。イは完了の助動詞「る〔り〕」が続くので、四段活用の已然形。ウは反実仮想の助動詞「ましか〔まし〕」が続くので、下二段活用の未然形。エは「ば」が続くので、四段活用の已然形。ウのみ謙譲語。よって、ウが正解。

〔解答〕

① ウ　② ア　③ エ　④ イ　⑤ ウ